

令和2年度 事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

公益財団法人 兵庫県身体障害者福祉協会

1 身体障害者の福祉に関する普及啓発事業

(1) 令和2年度兵庫県障害者福祉大会

障害者福祉に貢献した個人・団体を表彰するとともに、障害者の芸術・文化の振興を図るため、日頃の成果の発表をリモート配信した。

概 要	<p>福祉大会は例年、(公財)兵庫県手をつなぐ育成会、(公社)兵庫県精神福祉家族会連合会と共催し、兵庫県障害者芸術・文化祭と一体的に開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。</p> <p>そのため、表彰については各地域で行っていただくこととし、「地域身体障害者団体育成功労者表彰」15名、「地域身体障害者支援功労者表彰」1名、「ボランティア貢献感謝」1団体を表彰した。</p> <p>芸術文化祭の舞台部門は、各施設等に赴いて、太鼓、ストリートダンス等の演技を撮影し、配信した。</p>
-----	---

(2) 啓発・啓蒙普及事業

身体障害者の福祉の向上を図るため、地域の実情や、時世の流れに即応したテーマ、福祉課題等を取り入れた講演会、研修会、地域住民等との交流会などを開催することにより、広く啓発・啓蒙普及活動を行った。

また、新型コロナウイルス感染拡大による事業中止に伴う障害者の孤立を防ぐため、役員会にて団体活動の活性化を図り、会議や研修等に係るオンライン化への対応も行った。

①ブロック別身体障害者啓発・啓蒙事業（7ブロックで実施）

ブロック	開催日	場 所	参加人員	概 要
阪神北	11月29日	三田市総合福祉健康センター	115名	障害者フェスティバル'20 女優・歌手 河合美智子氏と夫 峰村純一氏のトークショー
北播	—	—	—	役員総会 新型コロナウイルス感染拡大により 書面決議
	5月8日	福祉センター	6名	第1回会長会 今後の事業について
	8月5日	福祉センター	7名	第2回会長会 今後の事業について
	10月13日	福祉センター	6名	第3回会長会 今後の事業について
	12月16日	福祉センター	—	第1回理事会 新型コロナウイルス感染拡大の ため中止

	1月	—	—	北播ブロック身体障害者福祉団体協議会 役員研修 新型コロナウイルス感染拡大のため中止
	3月16日	福祉センター	5名	第4回会長会 今後の事業について
	3月31日	福祉センター	25名	第2回理事会 次年度の事業について
姫路	1月20日 ～ 1月24日	イーグレひめじ	(来場者) 150名 (出展者) 18名	第15回障害者手づくり作品展 絵画・手芸品等の作品を展示
	1月31日	姫路市総合福祉会館	57名	第24回地域啓発総合福祉大会 ・功労者表彰 ・障害者代表者による体験発表 ・講演会
西播	2月	福崎町	—	令和2年度兵身協西播ブロック協議会 地域啓発総合福祉大会 新型コロナウイルス感染拡大のため中止
但馬	5月1日	書面決議	—	令和2年度定例総会 令和2年度議案審議
	7月6日	新温泉健康事務所	16名	第1回理事会 各事業担当、日程等審議
	9月11日	但馬長寿の郷	14名	第2回理事会 今年度事業開催の有無
	10月16日	但馬長寿の郷	8名	第1回機関誌編集委員会 機関紙発行の有無
	3月18日	丹波長寿の郷	11名	第3回理事会 今年度の報告及び次年度の計画
丹波	10月27日	丹波篠山市総合スポーツセンター	72名	身体障害福祉啓発活動と健康増進を目的としてグラウンドゴルフを実施。
	11月16日	丹波篠山市総合スポーツセンター	22名	(2回開催)
淡路	—	—	—	淡路地区地域啓発研修 新型コロナウイルス感染拡大のため中止

② 障害別団体身体障害者啓発・啓蒙事業

障害別	開催日等	場 所	参加・配布人員	概 要
県聴連 (県難聴)	季刊	三田市富士が丘 6 丁目 12-23	310 名	機関紙発行业「兵庫難聴」 理事、地域協会の活動、イ ベントの案内等を掲載し、個人 正会員、個人賛助会員、団体 賛助会員に配布し、情報共有 した。
(神鈴会)	季刊	神戸市立総合福祉 センター	400 名	機関誌発行业「鈴の音」 会員への啓発、親睦、広報活 動の記事等を記載した。
(兵聴協)	毎月発行	兵庫県難聴者協会 事務所	740 名	機関誌発行业「ろうあ兵庫」 ろう教育、労働、福祉、作業 所だより、案内など、盛りだ くさんの情報を発信し、紙面 を通じて聞こえない人々への 理解を広げた。
県肢体	6月23日 7月21日 2月26日	兵庫県福祉センター 兵庫県福祉センター 兵庫県福祉センター	13名 3名 5名	第1回理事会 DVD鑑賞 第1回役員会 DVD鑑賞 第2回役員会 DVD鑑賞

(3) 広報資料発行业

① 機関紙「兵身協」の発行・配布

県内の身体障害者に対し、身体障害者福祉に関する国や県の施策の動向、兵身協の活動状況などの情報を提供するため、機関紙「兵身協」を発行し、配布した。

- ・発行回数：年4回
- ・発行部数：1回あたり3,000部
- ・配布先：市町障害者団体、福祉行政機関、福祉関係団体、全国身体障害者団体等

回数	発行月	内 容
1回目	令和2年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度理事長挨拶 ・障害者社会参加推進協議会を開催 ・ひょうご障害者福祉計画の実現に向けた障害者福祉の推進について（事業計画） ・障害者防災ピアリーダーに対する施設見学会の開催 ・障害者のための弁護士、福祉専門職無料相談 ・自販機設置場所の提供依頼について ・ヘルプマーク普及、啓発

2回目	令和2年7月	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県身体障害者福祉協会、新正副理事長の紹介 ・大雨、水害多発時期の防災について ・第40回日身連近畿ブロック福祉大会開催 ・第22回日身連近畿ブロック相談員研修会開催 ・障害者ほっとライン（相談窓口）の案内 ・みんなの声かけ運動 絵画・ポスター募集 ・障害者週間作品募集のお知らせ ・障害者のための弁護士、福祉専門職無料相談 ・JR ジパング倶楽部特別会員の案内 ・駐車禁止除外指定車標章交付について
3回目	令和2年10月	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者支援研修会報告 ・身体障害者相談員研修会報告 ・防災ピアリーダー研修会報告 ・障害者のための弁護士、福祉専門職無料相談 ・ヘルプマーク普及、啓発 ・ひょうごスタイルの推進について ・障害者週間について ・兵身協ホームページ・SNSの案内
4回目	令和3年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県知事、兵身協理事長新年の挨拶 ・兵庫県障害者福祉大会開催 ・障害者のための弁護士、福祉専門職無料相談 ・「みんなの声かけ運動」ポスター ・みんなの声かけ運動推進員募集案内 ・ひょうごスタイル推進事業 ・ひょうごスタイルで開催（北播ブロックより報告） ・出前講座実施報告 ・木工体験と美術鑑賞文化交流会開催 ・障害者ほっとライン（相談窓口）の案内

②機関紙「日身連」の配布

（社福）日本身体障害者団体連合会が発行する機関紙「日身連」を配布し、国レベルの福祉の動向などの情報提供を行った。

（4）みんなの声かけ運動実践事業

ユニバーサル社会づくりの一環として障害のある方だけでなく高齢者や妊婦、小さな子ども連れの方など、街なかで困っている人がいたら声をかけて助け合う「みんなの声かけ運動」を展開した。

①普及啓発用グッズの作成・配布

- ・ 作成
 - ・ リーフレット 1,000部
 - ・ ポケットティッシュ 1,000個
 - ・ プリントクッションストラップ 1,000個
- ・ 配布先 一般県民、県市町関係機関、声かけ運動応援協定締結団体、出前講座実施団

体（学校関係等）等

②普及啓発活動の実践

例年は各種イベント、大会において兵身協職員、声かけ運動推進員等による普及啓発活動を実践していたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった。

実践日	イベント名	場所	参加人員
8月8日（土）	ひょうごヒューマンフェスティバル 2020in ひめじ	姫路市文化センター （姫路市西延末 426-1）	中止

③みんなの声かけ運動推進調整員・強化員の配置

県民による自主的な実践活動の促進・定着に向けた総合調整と充実強化を図るため、兵身協に「みんなの声かけ運動推進調整員」及び「みんなの声かけ運動強化員」を各1名配置した。

④子どもたちによるみんなの声かけ運動ポスター等の募集・展示

「街なかでの思いやり」をテーマとしたポスターを募集・展示し、声かけ運動の周知を図った。

兵庫県内の学校、団体、個人より118作品の応募があり、集まった作品は機関紙、ホームページへの掲載や「県民サロン」（県福祉センター1階）等に掲示し、周知徹底を図った。

⑤みんなの声かけ運動推進員地域会議（研修交流会）の開催

新型コロナウイルス感染拡大のため、予め作成した研修動画をみんなの声かけ運動推進員に配布し、肢体障害への理解を深めるとともに、活動の活性化を図った。

演 題：「肢体障害者の困りごと、支援について」～脊髄損傷と車椅子使用者の困りごと～

講 師：久保 秀男 氏（神戸市障害者スポーツ指導員）

配布人数：60名

⑥みんなの声かけ運動推進員の登録

みんなの声かけ運動を広げるため、地域で運動を実践・普及する推進員を募集・登録した。

○ 推進員の人数及び地域別登録者数 （令和3年3月31日現在）

総数		男性		女性		うち学生	
4,925名		2,648名		2,277名		129名	
地域	人数	地域	人数	地域	人数		
神戸	1,287	北播磨	177	丹波	697		
阪神南	438	中播磨	337	淡路	218		
阪神北	297	西播磨	381	県外	154		
東播磨	698	但馬	241	計	4,925		

⑦みんなの声かけ運動応援協定締結団体、大学・学校関係等への出前講座の実施

みんなの声かけ運動応援協定締結団体や大学・学校等に対して、障害者への適切な声かけや支援方法を学ぶ出前講座を実施することにより、障害者の安心・安全な社会参加の促

進を図った。(実施回数：28回・総参加人数529名)

No	開催日	企業・団体名	会場	講師	参加人数
1	6月9日(火)	各市町身体障害者団体	兵庫県福祉センター	DVD視聴	10名
2	6月23日(火)	(一社)兵庫県肢体障害者福祉協会	兵庫県福祉センター	DVD視聴	14名
3	9月8日(火)	兵庫県立伊丹北高校	多目的教室	久保秀男	10名
4	9月14日(月)	各市町身体障害者団体	兵庫県福祉センター	DVD視聴	8名
5	9月15日(火)	兵庫県立伊丹北高校	家庭科教室	竹沢啓子	9名
6	9月17日(木)	兵庫県立神戸高塚高校	A班105クラス	増田雅博	17名
7	9月23日(水)	兵庫県立伊丹北高校	多目的教室	久保秀男	13名
8	9月23日(水)	兵庫県立伊丹北高校	多目的教室	久保秀男	5名
9	9月24日(木)	兵庫県立神戸高塚高校	A班105クラス	坂田明代	17名
10	10月6日(火)	兵庫県立伊丹北高校	家庭科教室	山口規子	9名
11	10月7日(水)	兵庫県立伊丹北高校	多目的教室	竹部強	13名
12	10月7日(水)	兵庫県立伊丹北高校	多目的教室	竹部強	5名
13	10月8日(木)	兵庫県立神戸高塚高校	B班105クラス	増田雅博	19名
14	10月22日(木)	兵庫県立神戸高塚高校	A班105クラス	坂田明代	18名
15	10月26日(月)	関西福祉大学	216教室	淵上正寛	8名
16	10月29日(木)	兵庫県立神戸高塚高校	B班105クラス	坂田明代	16名
17	11月2日(月)	神戸女子大学	D館501教室	久保秀男	69名
18	11月5日(木)	兵庫県立神戸高塚高校	B班105クラス	菊谷真理子	15名
19	11月7日(土)	兵庫県立美術館	アトリエ2	DVD視聴	12名
20	11月9日(月)	関西福祉大学	216教室	増田雅博	8名
21	11月16日(月)	関西福祉大学	216教室	久保秀男	8名
22	11月19日(木)	兵庫県立図書館	第2研修室	竹部強	31名
23	11月20日(金)	兵庫県立総合衛生学院	研修室	久保秀男	15名
24	12月3日(木)	福崎町立福崎小学校	体育館(5年1組)	久保秀男	31名

25	12月3日(木)	福崎町立福崎小学校	体育館(5年2組)	久保秀男	32名
26	12月16日(水)	神戸市立星和台中学校	多目的教室	大坪健二	39名
27	12月16日(水)	神戸市立星和台中学校	多目的教室	大坪健二	39名
28	12月16日(水)	神戸市立星和台中学校	多目的教室	大坪健二	39名

⑧啓発用動画(DVD)の放映

視覚・聴覚・肢体障害者への声かけ方法に関する動画(DVD)を兵庫県福祉センター県民サロンにおいて108日間放映し、延べ5,000人の来館者が視聴した。

(5)「ヘルプマーク」導入の普及啓発

内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見からは分かりにくい人が、「ヘルプマーク」を身に着けることによって、援助等が受けやすくなるようにするため、機関紙「兵身協」への掲載や県内イベント等で広報し、これらの人の社会参加を促進した。

(6) 身体障害者福祉活動推進事業

各種社会参加促進事業の企画、推進業務にあたる身体障害者福祉活動推進員(1名)を配置して、事業の効率的な実施を図り、身体障害者の福祉の増進を図った。

2 身体障害者の福祉に関する研修事業

(1) 指導者等養成研修事業

各市町身体障害者団体役員等を指導者として養成するため、日本身体障害者団体連合会や近畿ブロック連絡協議会の会議、大会、研修会等に参加し、課題解決能力や資質の向上を図り、身体障害者の福祉の増進を図った。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、書面決議となったり、大会等が中止となった。

○ 近畿ブロック府県・政令指定都市団体長・事務局長会議(年2回)

開催日	行事名・場所	参加人員	概要
4月	日身連近畿ブロック団体長・事務局長会議(大阪市)	(書面決議)	・令和元年度決算報告について ・各団体の近況報告及び意見交換等
7月	日身連近畿ブロック団体長・事務局長会議(和歌山県)	(書面決議)	・日身連近畿ブロック第40回福祉大会及び第22回身体障害者相談員研修会の開催について(大会宣言・決議等の検討)

○ 第65回日本身体障害者福祉大会ひろしま大会

開催日	場所	概要
6月3日~4日	広島市	新型コロナウイルス感染拡大のため中止

○ 日身連近畿ブロック第40回福祉大会・第22回身体障害者相談員研修会

開催日	場所	概要
11月18日	和歌山県	新型コロナウイルス感染拡大のため中止

(2) 身体障害者相談員研修会開催事業

身体障害者相談員を対象として、相談に応じるために必要な知識、技術及び身体障害者福祉制度等に関する知識の習得を行い、相談員の資質の向上と相談体制の充実を図った。

① 全体(県)研修(災害時要援護者支援体制整備事業と同日開催)

開催日	場所・参加人数	概要
9月14日	兵庫県福祉センター 参加人数8名	第1部 災害時要援護者支援研修 演題：災害時要配慮者と避難所について 講師：特定非営利活動法人 兵庫県防災士会 副理事長 神戸学院大学現代社会学部教授 松山 雅洋 氏 第2部 身体障害者相談員研修 演題：身体障害者福祉制度の概要 講師：兵庫県健康福祉部障害福祉局障害福祉課 障害政策班班長 村上 真美 氏

※上記の研修会についての動画(DVD)を作成し、県内障害福祉団体に計50枚を配布した。

また、動画をYouTubeに公開し、地域や個人での視聴を促した。

YouTube 視聴回数：85回

② ブロック研修(4ブロックで実施)

ブロック	開催日	場所	参加人員	概要
阪神北	12月4日 年4回	三田市 総合福祉保健 センター	60名 延べ13名	阪神北ブロック総合研修会及び相談員研修会 知的障害者による“のぞみ太鼓” 全盲の歌手「時田直也氏」による歌と語り 新型コロナウイルス感染防止対策として、 大きな会場に少人数、マスク着用で実施。 三田市会長による開会の挨拶では「ひょう ごスタイル」をPRした。 役員会 事前打ち合わせ及び報告書作成
北播	11月5日	加西市 健康福祉 社会館	50名	北播ブロック地域啓発活動及び総合研修会 功労者表彰、演芸鑑賞会(民謡と浪曲の集 い)を実施
西播	2月	佐用町	—	令和2年度西播ブロック協議会相談員研修会 新型コロナウイルス感染拡大のため中止
淡路	—	—	—	淡路地区身体障害者相談員研修会 新型コロナウイルス感染拡大のため中止

(3) 音声機能障害者発声訓練・指導者養成事業

疾病等により喉頭を摘出し、音声機能を喪失した人に対して発声訓練を行い、社会参加の促進を図るとともに、この発声訓練に携わる指導者の養成を行うことにより、音声機能障害者の社会復帰を促進した。

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大のため、発声教室の会場である福祉センターや病院の使用が一時不可となったため、代替場所を確保しながら実施した。

喉頭摘出者は年配者が多いため、教室への出席について無理をしないように徹底したので、例年に比べて参加人員は減少している。

① 発声訓練事業（兵庫県喉摘障害者福祉協会・神鈴会で実施）

参加人数延べ1,778名（内指導員684名）（年間138回）

開催日	回数/年	開催場所	参加人員	講習内容
毎週木曜	38回	中央教室 (神戸市立総合福祉センター)	870名 (392名)	「発声教室」
毎月第2・4土曜 (令和3年1月から)	6回	中央土曜教室 (神戸市立総合福祉センター)	40名 (12名)	目的 喉頭摘出手術後の早期社会復帰を目指し、代用音声の習得・生活指導等を行った。
毎月第2・4金曜	17回	武庫川教室 (兵庫医科大学付属病院)	141名 (33名)	
毎月第1・3金曜	19回	姫路教室 (姫路医療センター)	279名 (102名)	代用音声の種類 電動式発声、笛式人工喉頭発声、シャント発声、食道発声の4方法がある。手術方法、年齢等に応じ、どの発声方法にするか本人と相談の上決め、指導を行った。
毎月第1・3月曜	14回	明石教室 (県立がんセンター)	169名 (51名)	
毎月第1・3火曜	19回	西宮教室 (西宮市総合福祉センター)	132名 (37名)	
毎月第1・3水曜	19回	三田教室 (三田市民病院)	127名 (50名)	
毎月第4水曜	6回	北播磨教室 (北播磨医療センター)	20名 (7名)	

② 指導者養成事業

例年実施している日喉連近畿ブロック指導者訓練研修会には、新型コロナウイルス感染拡大のため参加せず、随時、各教室でビデオ研修を実施した。(養成人数: 25名)

(4) 人工肛門・人工膀胱保有者社会適応訓練事業

人工肛門並びに人工膀胱保有者（オストメイト）に対して、生活指導及び装具装着指導等を行うことにより、社会復帰の促進を図った。

(日本オストミー協会兵庫県支部で実施) 参加人数延べ178名

開催日	事業内容	開催場所	参加人員	講習内容
4月12日	人工膀胱 体験懇談会	神戸市立総合 福祉センター	－	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
4月26日	明神地区 体験懇談会	あかし男女共 同参画センター	－	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
5月10日	播州地区 体験懇談会	加古川市総合 福祉会館	－	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
5月24日	入浴体験会	神戸しあわせ の村	－	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
6月13日	夏季中央 講演会	神戸市勤労 市民会館	－	コロナ禍により冬期に延期
6月28日	イレオストミ ー体験懇談会	神戸市立総合 福祉センター	－	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
7月12日	阪神地区 体験懇談会	西宮市立 中央公民館	22名	・講師：尼崎訪看ステーション 上村博美 皮膚・排泄ケア認定看護師 ・サポート参加：西宮市立中央病院 看護部 岸本智子 ・イレオストミー(小腸人工肛門) 保有者対象
7月26日	淡路地区 体験懇談会	兵庫県立淡路 医療センター	－	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
8月23日	北播磨地区 体験懇談会	市立西脇病院	－	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
8月30日	丹波地区 体験懇談会	丹波の森公苑	－	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
9月6日	初心者講演会 (オンライン)	神戸市立総合 福祉センター (共通スクリ ーン)	28名	【術後間もないオストメイト対象 の講演会】 ・講演1「オストメイトに知ってほ しいストーマ造設法と合併症」 西宮市立中央病院副院長・外科統 括部長/支部顧問委 大西直先生 ・講演2「ストーマケアの基礎～ス トーマと一緒に生活を自分らしく ～」 神戸市立医療センター西市民病 院 看護部 白井愛子 皮膚・排泄 ケア認定看護師

10月18日	オストメイト 講演会 in 播州	姫路市 市民会館	—	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
11月8日	但馬地区 体験懇談会	公立八鹿病院	—	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
11月15日	オストメイト 講演会 in 阪神	—	—	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
11月22日	人工肛門 講演会	神戸市立総合 福祉センター (共通スクリー ン)	40名	【人工肛門の医療講演会】 ・講演1「ストーマ関連下部消化管 疾患をめぐる最近の話題」 明和病院副院長・外科統括部長/ 顧問医 柳 秀憲先生 ・講演2「ストーマケア、ここがポ イント」 甲南医療センター 看護部 鈴木愛美 皮膚・排泄ケア認定看 護師
12月13日	冬期中央 講演会	神戸勤労会館 (共通スクリー ン)	50名	【県内の全オストメイト対象の医 療講演会】 ・講演1「上手な老い方、ボケ方、 死に方」 作家・医師 日下部 羊先生 ・講演2「ストーマと生活」 三菱神戸病院 看護部 里岡由希 皮膚・排泄ケア認定看護師
1月～3月	オストメイト 手帳会員外配 布事業	支部事務所 (ウエノ印刷 委託)	700冊	・令和2年度支部製作の「オストメ イト手帳」を会員外のオストメイト に無償配布 ・医療機関、ストーマ外来、装具 販売店、福祉窓口ほかへ630冊 送付、配布依頼 ・新聞記事により申し込みの約40 冊を会員外に配布
随時	オストミー ビジター活動	(県内全域)	—	新型コロナウイルス感染拡大のため中止
毎月第二 金曜日	姫路ストーマ ・よろず相談	モイヤン 姫路店	18名	皮膚・排泄ケア認定看護師によるス トーマケアの個別相談等
毎月第二 木曜日	阪神ストーマ ・よろず相談	モイヤン 尼崎店	20名	皮膚・排泄ケア認定看護師によるス トーマケアの個別相談等

3 身体障害者に対する支援事業

1-(1) 障害者社会参加推進センター運営事業

障害の有無にかかわらず、だれもが家庭や地域で明るく暮らすことができる社会づくりに向けて、障害者自らによる様々な社会参加促進策を実施し、地域における自立生活と社会参加の推進を図った。

事業名	事業の概要
(Ⅰ) 障害者社会参加推進センターの設置	<p>○公益財団法人兵庫県身体障害者福祉協会に設置 ・専任職員1名を配置して事業の企画、調整を行った。</p> <p>○障害者社会参加推進協議会の開催 開催日 令和3年2月18日(木) 場 所 兵庫県福祉センター 参加者 16名 身体障害者、知的障害者、精神障害者の当事者団体、県社協等の支援団体及び県障害福祉関係課から成る社会参加推進協議会を開催。県の障害福祉関係課から令和3年度の障害福祉施策について説明を受けるとともに、障害者の社会参加について、各団体が行っている方策や抱えている課題等について、情報提供や意見交換、助言などを行った。</p>
(Ⅱ) 相談、普及、啓発、総合研修会等の障害者社会参加推進事業の実施	<p>○地域身体障害者団体、障害別団体において啓発・啓蒙事業を実施した。 ・県内7ブロック(阪神北、北播、姫路、西播、但馬、丹波、淡路)及び障害別2団体(兵庫県肢体障害者福祉協会、兵庫県聴力言語障害者連合会)において啓発・啓蒙事業を実施するとともに、協会役職員の派遣などにより指導・援助を行った。</p>
(Ⅲ) 障害者社会参加推進事業の実施に必要な情報の収集、分析、提供	<p>○各障害者団体等へアンケート調査の実施 ・新型コロナウイルス禍における身体障害者への影響等の状況調査について、各障害者団体等へアンケート調査を行い、調査結果を県に提言した。 ・兵庫県が策定する兵庫県障害福祉実施計画について、各障害者団体等へアンケート調査(特に、障害の「害」の字の表記に関して)を行い、調査結果を県に提言した。 ・県等の各種委員会へ参画し、情報を収集するとともに、意見の表明を行った。(別掲)</p>
(Ⅳ) 障害者社会参加推進事業の実施に関する評価・調査研究	<p>○県・市町への要望等の調査の実施 ・各障害者団体に対して、県・市町への要望等の調査を行い、寄せられた要望等を県や県警察本部に要望した。</p>
(Ⅴ) 市町障害者社会参加推進事業に対する協力	<p>○市町障害者社会参加推進事業に対する協力 ・市町の障害者団体が行う社会参加推進事業に対し、実施方法や内容の相談、研修会講師の選定、大会開催時の専門的なスタッフ等の派遣などの協力を行った。</p>

(VI) 障害者社会参加推進関係団体に対する指導・援助	○事業計画及び研修会開催にかかる指導・援助 ・県内9ブロック（阪神南、阪神北、東播、北播、姫路、西播、但馬、丹波、淡路）及び障害別2団体（兵庫県肢体障害者福祉協会、兵庫県聴力言語障害者連合会）に対して、令和2年度の障害福祉施策について事業内容の説明や指導を行うとともに、相談された事案については必要に応じ助言・指導した。
-----------------------------	---

兵庫県等の障害者施策等に関する各種委員会等への参画

各種委員会・行事等	日時	場所	参加者
兵庫県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会	7月2日(木)	兵庫県民会館7階会議室	理事長
令和2年度福祉のまちづくり検討小委員会	7月10日(金)	県庁3号館6階 第2委員会室	理事長
兵庫県福祉サービス運営適正化委員会	7月13日(月)	兵庫県福祉センター 202会議室	理事長
兵庫県社会福祉審議会特別委員会	7月17日(金)	兵庫県民会館7階	副理事長
兵庫県社会福祉協議会生活福祉資金運営委員会	7月22日(水)	兵庫県福祉センター 4階会議室	理事長
兵庫県社会福祉協議会令和2年度第1回総合企画部会	7月29日(水)	兵庫県福祉人材研修センター1階研修室	理事長
兵庫県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会	8月7日(金)	兵庫県立ひょうご女性交流会館 会議室301	理事長
兵庫県新型コロナ最前線対話	8月18日(火)	兵庫県福祉センター	理事長
兵庫県障害者芸術文化祭実行委員会	8月19日(水)	県庁西館3階 健康福祉部会議室	事務局長
第1回兵庫県障害福祉審議会	9月18日(金)	兵庫県農業共済会館 4階会議室	理事長
兵庫県社会福祉協議会9月度生活福祉資金運営委員会	9月23日(水)	兵庫県福祉センター 4階会議室	理事長
兵庫県社会福祉協議会第1回中期計画策定委員会	9月29日(火)	兵庫県福祉センター 2階202会議室	理事長
第2回福祉のまちづくり検討小委員会	10月7日(水)	県庁3号館6階 第2委員会室	理事長
兵庫県社会福祉審議会ユニバーサル社会専門分科会	10月20日(火)	県庁3号館 6階第1委員会室	理事長
兵庫県社会福祉協議会第271回理事会 社会福祉情勢セミナー	11月25日(水)	兵庫県福祉センター 多目的ホール	理事長
第3回福祉のまちづくり検討小委員会	11月27日(金)	県庁3号館6階 第2委員会室	理事長
「ひょうご人権ネットワーク会議」 全体会 令和2年度「人権のつどい」	12月2日(水)	県公館第1会議室 県公館大会議室	理事長

第2回兵庫県障害福祉審議会	12月23日(水)	兵庫県民会館 11階 パルテホール	理事長
令和3年兵庫県関係者新年交礼会	1月4日(月)	兵庫県公館 大会議室	理事長
3障害団体新年知事あいさつ	1月12日(火)	県庁知事室	理事長
兵庫県社会福祉協議会 第2回中期計画策定委員会	2月4日(木)	県立原田の森ギャラリー 401号室	理事長
兵庫県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会	2月9日(火)	兵庫県民会館 901号室	理事長
兵庫県身体障害者福祉協会 障害者社会参加推進会議	2月18日(木)	兵庫県福祉センター 多目的ホール	理事長
兵庫県社会福祉協議会 第2回総合企画部会	2月25日(木)	兵庫県福祉センター 多目的ホール	理事長
第16回兵庫県障害者芸術・文化祭 「美術工芸作品公募展」選考会	3月4日(木)	兵庫県立美術館 ギャラリー棟 3階ギャラリー	理事長

1-(2) 兵庫県障害者芸術・文化祭の開催(県と共催) 再掲

○ 兵庫県福祉大会・兵庫県障害者芸術・文化祭(舞台部門)

障害者福祉に貢献した個人・団体を表彰するとともに、障害者の芸術・文化の振興を図るため、日頃の成果の発表をリモート配信した。

○ 第16回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」

県内に在住する障害のある方から募集した絵画、書道、写真及び工芸作品等の中から、選考会を開催し、受賞者を決定した。3月7日(日)に知事賞ほか、当協会理事長賞等の受賞者の表彰を行った。また、応募された作品は兵庫県立美術館において展示した。

開催日:令和3年3月5日(金曜日)～3月7日(日曜日)

場 所:兵庫県立美術館 ギャラリー棟 3階 ギャラリー

2 障害者スポーツ振興事業

スポーツを通じて、身体障害者の健康の維持増進と社会参加活動の促進を図るために実施を計画。

①第27回兵庫県身体障害者グラウンドゴルフ大会の開催

日時:10月21日(水)

場所:三木市防災公園

※新型コロナウイルス感染拡大のため中止。

②第5回兵身協ボウリング大会の開催

日時:2月6日(土)

場所:スーパーボウル二見(明石市)

※新型コロナウイルス感染拡大のため中止。

3 青少年組織強化推進事業

身体障害者の青少年層のリーダーを養成し、青少年身体障害者のグループの育成・強化

を図るとともに、相互の親睦を深め、情報交換・交流を促進することにより、身体障害者の福祉の増進を図った。

① 青少年身体障害者との交流

開催日	開催場所	参加人員	概要
7月3日	神戸市障害者スポーツ振興センター（神戸市中央区）	14名	コロナ対策についての研修会、青年層身体障害者及び健常者から成るユニバーサルチーム練習会参加、情報交換
7月17日	神戸市障害者スポーツ振興センター（神戸市中央区）	12名	ユニバーサルチーム練習会参加、情報交換
7月26日	兵庫県立障害者スポーツ交流館（神戸市西区）	8名	中途障害で訓練中の車いす初心者（青年層）のバスケットボール体験会（生活訓練をしている若者と障害者スポーツ指導員）
8月11日	神戸市障害者スポーツ振興センター（神戸市中央区）	12名	ユニバーサルチーム練習会参加、情報交換
8月16日	兵庫県立障害者スポーツ交流館（神戸市西区）	9名	中途障害で訓練中の車いす初心者（青年層）のバスケットボール体験会（生活訓練をしている若者と障害者スポーツ指導員）
9月22日	兵庫県立障害者スポーツ交流館（神戸市西区）	30名	青年層身体障害者（車いすバスケット経験者）と青年層健常者（障害者スポーツ指導員）とのバスケットボールを通じての交流会イベントに参加

② 青年層肢体不自由児者との交流会

8月28日（金）、兵庫県福祉センターにおいて、兵庫県肢体不自由児者協会と共催で、「夏の交流会」と題して、青年層肢体不自由児者と大学生との交流会を計画
※新型コロナウイルス感染拡大のため中止。

③ 青少年身体障害者向けの「座ってできるエクササイズ」の開催

12月5日（土）、青少年身体障害者を対象として、オンラインでエクササイズの開催を計画
※新型コロナウイルス感染拡大のため中止。

4 身体障害者生活行動訓練事業

それぞれの障害に適した生活行動訓練や研修会を総合的に行うことにより、在宅身体障害者の福祉の増進を図った。

① 身体障害者(県全体)

行 事 名	開 催 日	場 所・参加人数	概 要
兵庫県立美術館の美術鑑賞と文化交流会	11月7日	兵庫県立美術館及び館内アトリエ2 (参加者20名)	第1部 「木の話と木工体験～桜の木で作るお箸作り」 講師：有限会社アルブル 代表 米地 徳行 第2部 ミナベルホネン/皆川明 つづく展の美術鑑賞
日身連近畿ブロック第40回福祉大会・第22回身体障害者相談員研修会	11月18日	和歌山市民会館	新型コロナウイルス感染拡大のため中止

身体障害者(丹波ブロック)

囲碁ボール交流会	12月1日	柏原住民センター (参加者73名)	会員の親睦と交流を図り、健康と社会参加の増進を図るため、囲碁ボールを実施した。
----------	-------	----------------------	---

② 障害別

団 体	開 催 日	場 所	参加人員	概 要
県肢体	11月17日	太子町総合公園	—	グラウンドゴルフ大会 新型コロナウイルス感染拡大のため中止
	12月8日	兵庫県福祉センター	5名	生活行動訓練研修会 コロナ禍での事業運営と障害者の行動について
	2月16日	兵庫県福祉センター	3名	在宅障害者の避難マイプラン作成研修会 地域で取り組む高齢者・障害者の避難支援(マイプラン作成)
	2月	淡路市	—	研修会 新型コロナウイルス感染拡大のため中止
県聴連 ろうあ者対象	1月11日	西脇市民会館	200名	第47兵庫県ろうあ者新年大会兼成人の祝いの集い in 西脇 入会式典、成人祝いのつどい、トークディスカッション、引継ぎ式等盛大に開催した。
難聴者対象	2月6日	生田文化会館	—	一日交流研修会 新型コロナウイルス感染拡大のため中止。

難聴者 対象	3月20日	発信：フラワータウン市民センター	40名	一日交流会(オンライン開催) 通訳者を必要とする聴覚障害者を対象に、オンライン交流会にチャレンジし、コロナ禍での交流会を実施した。
-----------	-------	------------------	-----	--

5 身体障害者外出支援事業

① ジパング倶楽部事業

日身連と連携し、満60歳以上の男性及び満55歳以上の女性で、身体障害者手帳所持者のうち希望者を対象に、乗車券以外の特急券、急行券、指定席券の割引特典がある「JRジパング倶楽部」への加入の代行業務を行い、身体障害者の外出機会の増大支援による社会参加の促進を図った。

- ・ 取扱件数：298件

② 駐車禁止除外指定車標章事業

兵庫県警察本部交通部が発行する「身体障害者駐車禁止除外指定車標章」(ステッカー)を身体障害者手帳所持者のうち希望者を対象に、交付手続の代行業務を行い、身体障害者の外出機会の増大支援による社会参加の促進を図った。

- ・ 取扱件数：35件

6 「障害者110番」運営事業

障害者等の多様な相談等に対応するため、常設相談窓口や精神障害者相談窓口を設置するなど、障害者が社会に参加していく際に生じるさまざまな課題の解決を図った。

① 総合相談(公益財団法人 兵庫県身体障害者福祉協会内)

相談時間：午前9時から午後4時30分

相談日：毎週月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)

相談件数：657件

② 精神障害者相談(公益社団法人 兵庫県精神福祉家族会連合会内)

相談時間：午前10時から午後3時(正午～午後1時を除く)

相談日：毎週月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)

相談件数：665件

③ 弁護士・福祉専門職による法律相談(兵庫県弁護士会館内)

相談時間：午後1時から4時

相談日：毎週火曜日(年末年始、祝日を除く)

相談件数：254件

7 災害時要援護者支援体制整備事業

(1) 災害時要援護者支援体制についての研修を身体障害者相談員対象に実施した。

(身体障害者相談員研修会と同日開催)

開催日	場所・参加人数	概要	要
-----	---------	----	---

9月14日	兵庫県福祉センター 参加人数 8名	災害時要援護者支援研修 演題:災害時要配慮者と避難所について 講師:特定非営利活動法人 兵庫県防災士会 副理事長 神戸学院大学現代社会学部 教授 松山 雅洋 氏
-------	----------------------	---

※上記の研修会についての動画（DVD）を作成し、県内障害福祉団体に計50枚を配布した。
また、動画をYouTubeに公開し、地域や個人での視聴を促した。

YouTube 視聴回数：85回

障害者自助力（防災意識）強化推進事業

地域で暮らす障害者の自助力（防災意識）を強化し、災害から身を守るため、早期避難の徹底等を図った。

（2）障害者自助力強化推進事業

① 障害者防災ピアリーダーに対する研修会

開催日	場 所	参加人員	概 要
9月15日	兵庫県福祉センター	(当日参加) 12名 (資料・動画送付) 140名	①「障害者自助力（防災意識）強化推進事業について」 講師：兵庫県企画県民部防災企画課 阪上 幸代氏 ②「大災害を乗り越えるための心構えと行動」 講師：兵庫県広域防災センター 防災教育専門員 田中 健一氏

※研修の内容は後日DVDとYouTubeの限定配信にて各障害者団体・市町障害福祉課等に送付し、情報提供を行った。(DVD 視聴37市町、配信視聴189回)

② 障害別団体・各ブロックによる防災研修会

区分	開催日	場 所	参加人員	概 要
県肢体	8月26日	北淡震災記念公園	10名	野島断層保存館視察
	2月16日	兵庫県福祉センター	3名	阪神淡路大震災語り部傾聴 防災と福祉の連携促進シンポジウム参加(オンライン参加)

阪神南	8月12日	参加者自宅(3軒)	6名	障害者のためのオーダーメイド 防災ワークショップ 視覚障害者家庭訪問による防 災指導
	9月10日	木口記念館	9名	障害者のためのオーダーメイド 防災ワークショップ オーダーメイド防災計画をも とに防災・避難指導
	9月19日	芦屋市市民センター	20名	聴覚障害者による聴覚障害者の ための防災教室 聴覚障害者防災士による講演 とワークショップ、防災につ いての情報交換等
	10月20日	芦屋市役所	50名	阪神南ブロック防災研修会 防災意識を高めるための防災 専門家による講演会
丹波	10月3日	兵庫県立人と防災 未来センター	—	新型コロナウイルス感染拡大の ため中止。

8 在宅重度身体障害者生活環境改善資金貸付事業

日常生活に著しく支障のある在宅重度身体障害者(児)の援護施策の一環として、日常生活動作及び介護を容易にするための住宅改修、設備の購入等に必要な資金を貸し付ける。

- ・対象：1、2級の身体障害者(児)
- ・貸付限度額：100万円(無利子)
- ・令和3年3月末取扱件数：0件

9 身体障害者更生資金特別貸付事業

身体障害者が更生のために行う生業資金(店舗、事業場の設備等の新設又は賃借、器械器具等の購入、原材料、商品等の仕入れ資金など)の貸付により、自立の助長促進と生活の安定を図る。

- ・貸付限度額：40万円
- ・貸付利息：年3%
- ・令和3年3月末取扱件数：0件

4 その他事業

(1) 協会管理運営業務

① 理事会等の開催

会議名	開催年月日	場所・参加人数	概要
監事監査	4月27日	書面決議	令和2年度事業報告 令和2年度収支決算

理事会	5月14日	書面決議	令和2年度事業報告 令和2年度収支決算 評議員会の開催について
評議員会	5月22日	書面決議	令和2年度事業報告 令和2年度収支決算 理事・監事・評議員の選任
理事会	6月9日	兵庫県福祉センター	理事長・副理事長の選任
理事会	3月10日	兵庫県福祉センター	令和3年度事業計画 令和3年度収支予算 評議員会の開催について
評議員会	3月31日	書面決議	令和3年度事業計画 令和3年度収支予算

② 協会運営管理

- ・ 庶務、会計事務等